

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312057	保育内容(健康) The contents of childcare(health)	加藤 彰浩		専門	1	必修	1後期

科目の概要

この科目は四大精神の実践を通して（DP1）、保育士・幼稚園教諭に必要な専門的知識・技能を身につけ（DP3）、社会で自立するために必要な社会人基礎力等を身につけてながら、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成していく内容である。
乳幼児期の子どもたちの心と体の健康は、相互に密接な関連を持っており、人や物などの多様な関わり合いの中で、のびのびと体を動かして遊ぶことにより、諸機能（運動・認識・ことば）の発達が進められる。さらに、遊びを体験していくなかで、体を動かす楽しさを味わい、安全について考え、自分の身体について認識するようになっていく。本科目においては、子どもたちの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだすための、幼稚園・保育所（園）・こども園における保育内容「健康」の内容について学習し、教育・保育の留意点について修得する。

学修内容	到達目標
① 幼稚園・保育所（園）・こども園における領域 保育内容（健康）の内容を学修する。 ② 子どもの健康をめぐる現状について学修する。 ③ 子どもの心身の発達と健康について学修する。 ④ 基本的生活習慣の発達段階と援助方法について学修する。 ⑤ 子どもの安全な生活と病気の予防について学修する。	① 幼稚園・保育所（園）・こども園における領域 保育内容（健康）の内容を理解することができる。 ② 子どもの健康をめぐる現状と課題について理解することができる。 ③ 子どもの心身の発達と健康について理解することができる。 ④ 基本的生活習慣の発達段階と援助方法について理解し、実践することができる。 ⑤ 子どもの安全な生活と病気の予防について理解することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	提示された資料について理解し、授業に関する要点を整理し、まとめることができる。
	働きかけ力	
	実行力	提示されたテーマに応じた事例や資料収集しができる。
考え抜く力	課題発見力	学習テーマに応じた内容において各自に不足している事項について知ることができる。
	計画力	
	創造力	学習した内容を踏まえ、自分自身の考えを伝えることができる。
チームで働く力	発信力	学修した内容を他者に分かりやすく伝達することができる。
	傾聴力	グループや他者の意見を積極的に聴くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	決められた期日までに課題や提出物を提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：演習 保育内容健康―基礎的事項の理解と指導方法―（建帛社）
 参考資料：幼稚園教育要領（平成30年3月最新版）・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領（平成30年3月最新版）
 その他：資料と授業課題を配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育内容(健康)」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、保育の5領域の内容であり、その後に履修する保育内容(健康)指導法Ⅰ・Ⅱの基礎となる科目である。
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
講義だけでなく、実技やグループワーク、人や物との関わり合いを持ちながら授業が展開することから、主体的な受講姿勢が必要となる。積極的に予習・復習を行うこと。	・受講態度（学習意欲欠如、私語、課題やその他の提出物の未提出、など）が見られる場合は減点する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓		・保育内容 領域「健康」の内容について、正しく理解しているかを評価する。 ・保育内容 領域「健康」の内容を踏まえ、保育現場における指導上の留意点について、正しく理解しているかを評価する。さらに、それらを用いて子どもの健康について考えることが出来るかを評価する。 【知識の獲得】保育内容（健康）におけるこどもの健康や安全に関する知識の獲得：50% 【知識の活用】保育内容（健康）におけるこどもの健康や安全に関する知識を持って保育へ活用：30% 【知識の解決】保育内容（健康）におけるこどもの健康や安全を考えることが出来る：20%
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①	✓		・保育内容 領域「健康」について、内容を理解しつつ、具体的に考えられているかを評価する。 ・提示する授業プリントを提出し、内容を評価する。 ・未提出は0点とする。 【知識の獲得】保育内容 領域「健康」の内容：30% 【知識の活用】子どもの健康や安全について保育を意識した思考：30% 【知識の解決】こどもの健康や安全について保育を意識した提案：40%
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性） ・教科書や提示された資料をもとに、事前に各テーマに関する事項を調べて記入すること。 ・苦手なことにも自ら積極的に取り組むこと。 （実行力） ・教科書や提示された資料以外をもとに、事前に各テーマに関する事項を調べて記入すること。 （課題発見力） ・各内容の要点や留意点、支援方法に気づき、考えること。 （創造力） ・実際の保育や支援場面を想定し、考えること。 （発信力） ・自分の疑問や考えをまとめ、発言すること。 （傾聴力） ・グループにおいて他者の意見を踏まえ、考えること。 （規律性） ・提出物は期日までに提出すること。 ・忘れ物をせず、子どもの前に立つ立場として相応しい態度・身だしなみで受講すること。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは保育内容（健康）の内容を理解するとともに、子どもの健康をめぐる現状と課題を持って考えることができる。また、子どもたちの心身の発達と健康について理解し、基本的生活習慣の発達段階と援助方法を身に付けることができる。さらに、子どもの健康な心身の成長に必要な保育者の役割と、安全指導について理解することができる。 Aは上記について、おおよそできる。	Bは保育内容（健康）の内容を理解するとともに、子どもの健康をめぐる現状と課題を持って考えることがある程度できる。また、子どもたちの心身の発達と健康について理解し、基本的生活習慣の発達段階と援助方法を身に付けることができる程度できる。さらに、子どもの健康な心身の成長に必要な保育者の役割と、安全指導について理解することができる程度できる。 Aは上記について、おおよそできる。 Cは上記について、保育士・幼稚園教諭として働くための最低限の内容を理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	○オリエンテーション 保育内容「健康」では、何を学ぶか	講義（教室）	保育内容「健康」で学ぶ内容を理解している。	予習：健康な生活について調べる。（教科書p. 1-3） 復習：健康で安全な生活についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	○「幼児期にふさわしい生活とからだをよく動かすこどもを育てる」について学ぶ	講義（教室）	幼児期にふさわしい生活とからだをよく動かすこどもを育てるためにはどうしたらよいかを理解している。	予習：幼児期にふさわしい生活とからだをよく動かすこどもを育てる」について調べる。（教科書p. 3-11） 復習：幼児期にふさわしい生活についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○「子どもの形態的発育」について学ぶ	講義（教室）	「子どもの形態的発育」について理解している。	予習：「子どもの形態的発育」について調べる。（教科書p. 12-21） 復習：子どもの形態的発育についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○「子どもの形態計測方法」について学ぶ	演習（小児保健実習室2）	「子どもの形態計測方法」について理解している。	予習：「子どもの形態計測」について調べる。（配布資料） 復習：子どもの形態計測方法についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○「子どもの生理的機能の発達」について学ぶ	演習（小児保健実習室2）	「子どもの生理的機能の発達」について理解している。	予習：「子どもの生理的機能の発達」について調べる。（教科書p. 21-27） 復習：子どもの生理的機能の発達についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○「乳幼児期の運動」 0歳児から3歳未満児の運動発達と環境 3歳以上児の運動発達と環境	講義（教室）	「乳幼児の運動発達と環境」について理解している。	予習：「乳幼児の運動」について調べる。（教科書p. 28-37） 復習：子どもの生理的機能の発達についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○「運動遊びへの関わりと運動発達に影響を及ぼす要因」について学ぶ	講義（教室）	「運動遊びへの関わり」、「運動発達に影響を及ぼす要因」について理解している。	予習：「運動遊びへの関わりと運動発達に影響を及ぼす要因」について調べる。（教科書p. 38-46） 復習：運動遊びへの関わりと運動発達に影響を及ぼす要因についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○「幼児の運動指導への関わり方」について学ぶ 「アクティブ・チャイルド・プログラム」について学ぶ	オンデマンド	「幼児の運動指導への関わり方」、「アクティブ・チャイルド・プログラム」について理解している。	予習：「アクティブ・チャイルド・プログラム」について調べる。 復習：幼児の運動指導への関わり方、アクティブ・チャイルド・プログラムについてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	○「乳幼児期の安全教育と怪我の予防」について学ぶ	講義・演習（教室）	「乳幼児期の安全教育と怪我の予防」について理解している。	予習：「乳幼児期の安全とけがの予防」について調べる。（教科書 p. 47-56） 復習：乳幼児期の安全とけがの予防についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○「乳幼児期の生活習慣の形成」について学ぶ	講義・演習（教室）	「乳幼児期の生活習慣の形成」について理解している。	予習：「乳幼児期の生活習慣の形成」について調べる。（教科書 p. 57-73） 復習：乳幼児期の安全とけがの予防についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○「乳幼児期の遊びと運動」について学ぶ	講義・演習（教室）	「乳幼児期の遊びと運動」について理解している。	予習：「乳幼児期の遊びと運動」について調べる。（教科書 p. 74-90） 復習：乳幼児期の遊びと運動についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○「乳幼児期の生活と食」について学ぶ	講義・演習（教室）	「乳幼児期の生活と食」について理解している。	予習：「乳幼児期の生活と食」について調べる。（教科書 p. 91-98） 復習：乳幼児期の生活と食についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○「領域「健康」」について学ぶ	講義・演習（教室）	「領域「健康」」について理解している。	予習：「領域「健康」」について調べる。（教科書 p. 99-103） 復習：領域「健康」についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
14	○「領域「健康」の指導法」について学ぶ	講義・演習（教室）	「領域「健康」の指導法」について理解している。	予習：「領域「健康」の指導法」について調べる。（教科書 p. 104-118） 復習：領域「健康」の指導法についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○「領域「健康」をめぐる現代的な問題」について学ぶ	講義・演習（教室）	「領域「健康」に関する諸問題」について理解している。	予習：「領域「健康」に関する問題」について調べる。（教科書 p. 119-127） 復習：領域「健康」に関する問題についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力